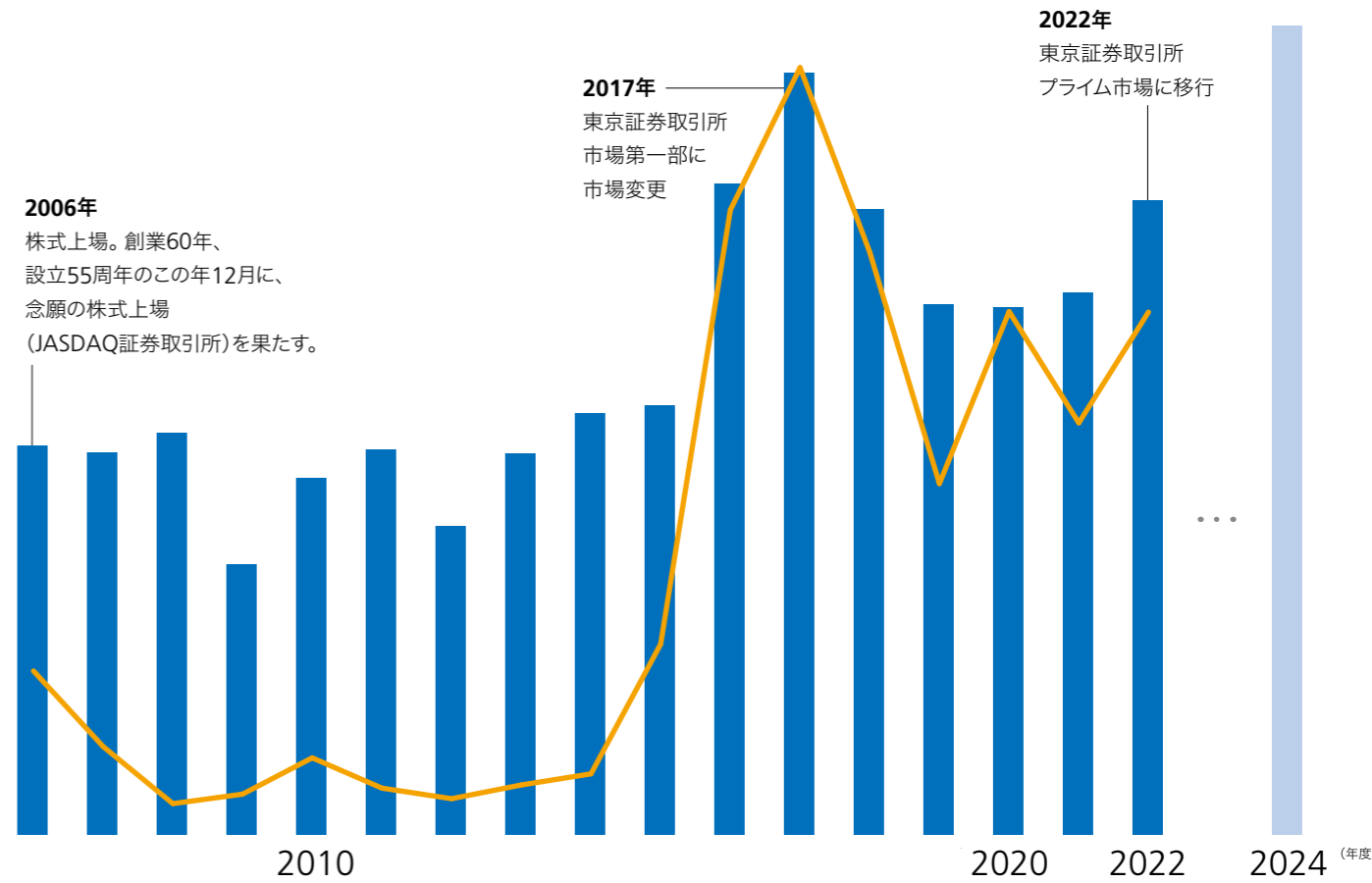


価値創造の軌跡

世界中で日々進化し続けるものづくり。
さまざまな産業分野の
ものづくりを支える、
それがHirataのしごとです。

■ 売上高
— 時価総額推移
(各年3月31日時点)



産業用車両の製造・販売

活人倍力*1の考え方の下、生産ラインの受注を拡大

ロボット開発やコンベヤを
主体とした生産ラインの
自動化を進める

制御技術とソフトウェア技術を導入し、
より高度な自動化を実現。組立ラインだけでなく
プロセス装置を製造・販売する

自動車・半導体・家電分野を主力事業とする 生産システムインテグレーター

将来ニーズを先読みし 競争力を強化

1951年

株式会社創立

産業用車両の製造および販売を目的として
熊本県熊本市に平田車輛工業株式会社を
設立。リヤカーなどの産業用車両およびベ
ルトコンベヤで受注を伸ばす。



「MEPチェーン」コンベヤ
製品を作業者の前で停止する作業視点のフリー
フローシステムを採用

1974年

平田機工株式会社の誕生

家電業界などに向けた自動組立機などにより
事業が拡大する中、主にポータブルコン
ベヤを手がけていた大平コンベヤ、家電
関係のコンベヤを担当していた平田車輛
工業、平田機工商事の関連3社が合併し、
平田機工株式会社が誕生。



CRT設備



自動車関連事業拡大に向け、
北米のトレードショーへ出展

1980年

海外拠点の拡充

国内だけでなく、海外大手家電メーカーに
も組立ラインを納入するようになり、さらなる
販路開拓のため、アメリカに初の海外拠
点を設立。これを皮切りに、欧州、東南アジア、
中国などの各エリアに関係会社を設置。



クリーン対応
ロボット「AR-K」



「ACS」コンセプトの自動車エンジン組立ライン

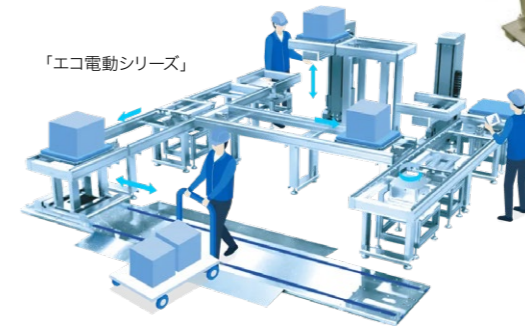
2000年

時代のニーズに合わせ事業を拡大

CRT(ブラウン管)テレビ市場の縮小を予測し、
FPD(フラットパネルディスプレイ)市場
に参入。半導体関連事業にも参入し、海外
大手メーカーなどと取引。生産システム
インテグレーターとして、世界の舞台へ。



ブラシレスDCモータ
「Hirata BLUE MOTOR」



「エコ電動シリーズ」



「Dual Head」ワイヤーボンダー



リアルタイム稼働状況モニタリング

現在

持続可能な社会の実現に向け、 選択と集中

100年に一度と言われる自動車産業の変革
期や、持続可能な社会の実現に向けたニ
ーズの変化に対し、確かな品質と技術で
応える。デジタル技術を活用し、利便性・
環境貢献度の高いスマートファクトリー
を提案。EV(電気自動車)関連のキー
デバイスなど、今後需要増が見込まれる
製品の開発を強化。

*1 設備の自動化によって人を減らす「省人省力」ではなく、人はより付加価値の高い仕事につくことで、人を活かすという考え方を表す当社の造語。